

美しき天然

作詞 武島羽衣
作曲 田中穂積

□□□□

(1)

空にさえずる 鳥の声
峯より落つる 滝の音
大波小波と ぬうと音
響き絶やせぬ 面海の音
聞けや人の 面白き
この天然の 弾きやもう
調の白手 尊しやもう
神の御手に

(2)

春は桜の あや衣
秋はもじ の 唐錦
夏は涼しき 月の絹
冬は真白き 雪の布
見よや人の 美しのき
この天然の 織物を
手の際た くみ 尊しや
神のた くみ 尊しや

(3)

うす墨いけ 四方の山
くはな勾け 横がすみ
海辺は砂の 美しう
青松や人の 美しう
見よや人の 美しう
この天然の 尊しや
筆の力ば 尊しや
神の力ば 尊しや

(4)

朝に起る 雲の殿
夕べに 虹の橋
晴天に 見せ
青天に かな
仰げたる 珍しき
この天然の 尊しや
かみ大 尊しや
神のくみ 尊しや

美しき天然

作詞 武島羽衣
作曲 田中穂積

□□□■

1

空にさえずる 鳥の声
峯より落つる 滝の音
大波小波 とうとうと
響き絶やせぬ 海の音
聞けや人々 面白き
この天然の 音楽を
調べ自在に 弾きたもう
神の御手(おんて)の 尊しや

美しき天然

作詞 武島羽衣
作曲 田中穂積

2.

□□■

春は桜の あや衣(ごころも)

秋はもみじの 唐錦(からづつぎ)

夏は涼しき 月の絹

冬は真白き 雪の布

見よや人々 美しき

この天然の 織物(おりもの)を

手際(てぎわ)見事に

織りたもう

神のたくみの 尊しや

美しき天然

作詞 武島羽衣
作曲 田中穂積

3.

うす墨ひける

四方(よも)の山

くれない匂う

横がすみ

海辺はるかに

うち続く

青松白砂の 美しさ

見よや人々

たぐいなき

この天然の

うつし絵を

筆も及ばず

かきたもう

神の力の 尊しや

美しき天然

作詞 武島羽衣
作曲 田中穂積

4.

朝(あした)に起おこる

雲の殿(との)

夕べにかかる 虹の橋

晴れたる空を 見渡せば

青天井に 似たるかな

仰(あお)げ人々

珍(めず)らしき

この天然の 建築を

かく広大に 建てたもう

神のみ業(わざ)の 尊しや